

(共通テスト対策 ⑤)

問題 k を実数として、 x の整式 $P(x)$ を $P(x) = x^3 + kx^2 + (2k+1)x + k+2$ とする。3次方程式 $P(x) = 0$ は一つの実数解と異なる二つの虚数解 α, β をもつとする。

(1) どのような k の値に対しても $P(-\text{ア}) = 0$ であるから、因数定理により

$$P(x) = (x + \text{ア})\{x^2 + (k - \text{イ})x + k + \text{ウ}\} \text{ が成り立つ。以下、}$$

$$Q(x) = x^2 + (k - \text{イ})x + k + \text{ウ} \text{ とする。}$$

2次方程式 $Q(x) = 0$ は異なる二つの虚数解をもつので、 k のとり得る値の範囲は $\text{エオ} < k < \text{カ}$ である。

α, β は $Q(x) = 0$ の解であるので、解と係数の関係により、 $\alpha^2 + \beta^2$ は k を用いて

$$\alpha^2 + \beta^2 = k^2 - \text{キ}k - \text{ク} \text{ と表される。したがって、} \alpha^2 + \beta^2 \text{ は } k = \text{ケ} \text{ で最小値 } \text{コサ} \text{ をとることが}$$

わかる。また、 $k = \text{ケ}$ のとき $\alpha^2\beta^2 = \text{シス}$ 、 $\alpha^4 + \beta^4 = \text{セソ}$ である。

(2) $k = \text{ケ}$ のとき、 $P(x) = 0$ の異なる二つの虚数解は $\frac{-\text{タ} \pm \sqrt{\text{チツ}}i}{2}$ である。

$$\text{以下 } \alpha = \frac{-\text{タ} + \sqrt{\text{チツ}}i}{2}, \beta = \frac{-\text{タ} - \sqrt{\text{チツ}}i}{2} \text{ とし、} X = \alpha + \beta i, Y = \alpha - \beta i \text{ とする。}$$

$X^4 + Y^4$ を α, β を用いて表そう。 X^4, Y^4 のそれぞれに、二項定理を用いて整理する

$$\text{と } X^4 + Y^4 = \text{テ}(\alpha^4 + \beta^4) - \text{トナ}\alpha^2\beta^2 \text{ となる。}$$

このとき、 $\alpha^2\beta^2 = \text{シス}$ 、 $\alpha^4 + \beta^4 = \text{セソ}$ であるから、 $X^4 + Y^4$ の値は ニヌネノ である。

解答

$$(1) P(-1) = (-1)^3 + k \cdot (-1)^2 + (2k+1) \cdot (-1) + k+2 = -1 + k - 2k - 1 + k + 2 = 0$$

よって、どのような k の値に対しても $P(-1) = 0$

このとき、因数定理により

$$P(x) = (x + 1)\{x^2 + (k - 1)x + k + 2\}$$

$Q(x) = x^2 + (k-1)x + k+2$ であり、2次方程式

$Q(x) = 0$ は異なる2つの虚数解をもつから、判

別式を D とすると $D < 0$

$$D = (k-1)^2 - 4(k+2) = (k+1)(k-7) \text{ であるから } (k+1)(k-7) < 0$$

よって $\text{エオ} - 1 < k < \text{カ} 7$

2次方程式 $Q(x) = 0$ の解と係数の関係により $\alpha + \beta = -(k-1)$ 、 $\alpha\beta = k+2$

$$\text{このとき } \alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = \{-(k-1)\}^2 - 2(k+2)$$

$$= k^2 - 4k - 3 = (k-2)^2 - 7$$

したがって、 $\alpha^2 + \beta^2$ は $k = 2$ で最小値 $\text{コサ} - 7$ をとる。

$$\text{また、} k = 2 \text{ のとき } \alpha + \beta = -1, \alpha\beta = 4$$

$$\text{よって } \alpha^2\beta^2 = (\alpha\beta)^2 = 4^2 = \text{シス} 16$$

$$\alpha^4 + \beta^4 = (\alpha^2 + \beta^2)^2 - 2\alpha^2\beta^2 = (-7)^2 - 2 \cdot 16 = \text{セソ} 17$$

1	k	$2k+1$	$k+2$	-1
	-1	$-k+1$	$-k-2$	
1	$k-1$	$k+2$	0	

(2) $k=2$ のとき $Q(x) = x^2 + x + 4$

$P(x) = 0$ の異なる 2 つの虚数解は, $Q(x) = 0$ の解で $x = \frac{-1 \pm \sqrt{15}i}{2}$

また, 二項定理により

$$\begin{aligned} X^4 &= (\alpha + \beta i)^4 = {}_4C_0 \alpha^4 + {}_4C_1 \alpha^3(\beta i) + {}_4C_2 \alpha^2(\beta i)^2 + {}_4C_3 \alpha(\beta i)^3 + {}_4C_4(\beta i)^4 \\ &= \alpha^4 + 4\alpha^3\beta i - 6\alpha^2\beta^2 - 4\alpha\beta^3 i + \beta^4 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} Y^4 &= (\alpha - \beta i)^4 = {}_4C_0 \alpha^4 + {}_4C_1 \alpha^3(-\beta i) + {}_4C_2 \alpha^2(-\beta i)^2 + {}_4C_3 \alpha(-\beta i)^3 + {}_4C_4(-\beta i)^4 \\ &= \alpha^4 - 4\alpha^3\beta i - 6\alpha^2\beta^2 + 4\alpha\beta^3 i + \beta^4 \end{aligned}$$

よって

$$\begin{aligned} X^4 + Y^4 &= (\alpha^4 + 4\alpha^3\beta i - 6\alpha^2\beta^2 - 4\alpha\beta^3 i + \beta^4) + (\alpha^4 - 4\alpha^3\beta i - 6\alpha^2\beta^2 + 4\alpha\beta^3 i + \beta^4) \\ &= 2(\alpha^4 + \beta^4) - 12\alpha^2\beta^2 \end{aligned}$$

(1) より, $\alpha^2\beta^2 = 16$, $\alpha^4 + \beta^4 = 17$ であるから

$$X^4 + Y^4 = 2 \cdot 17 - 12 \cdot 16 = -158$$